



Hewlett Packard
Enterprise

Red Hat Enterprise Linux 8.1 Supplement for Service Pack for ProLiant 2019.12.0 リリース ノート

法律および通知情報

© Copyright 2019 Hewlett Packard Enterprise Development LP

ドキュメント履歴:

リリース日	説明
2020 年 1 月	初期バージョン

目次

概要.....	4
アップデートの推奨事項.....	4
整合性.....	4
変更の概要.....	4
重要な注意.....	4
リリースの概要.....	5
前提条件.....	5
Linux 上での SUM の実行.....	5
展開の手順.....	6
コンポーネントリリースノート.....	6

概要

Service Pack for ProLiant (SPP) サプリメントは、展開ツールとして SUM を含むソフトウェアおよび/またはファームウェアコンポーネントを含めたバンドルです。SPP のコンポーネントと連動していない新しいオペレーティングシステムのアップデートまたは SPP に含まれていない機能をサポートすることが可能です。サプリメントに含まれるソフトウェアおよびファームウェアは、通常の SPP のリリースサイクル外で必要とされる機能のサポートを提供します。サプリメントは、必要なときに HPE がドライバーのサポートを提供することができるため、カスタマーは完全な SPP が利用可能になるのを待つ必要がなくなります。

各 SPP サプリメントのバージョン番号は、対応する SPP のバージョンと一致しています。サプリメントのリリースノートは、利用可能で、バンドル内のコンポーネントに関する情報が含まれます。サプリメントのコンテンツが Linux コンポーネントを含む場合、コンポーネントは Linux Software Delivery Repository (SDR) でも利用可能です。

一旦リリースされたら、SPP サプリメントのコンテンツの機能が次の利用可能な SPP に含まれます。

SPP に関連付けられたホットフィックスは、SPP サプリメントでも動作します。ホットフィックスが、サプリメントでサポートされているオペレーティングシステムをサポートしているかどうかを確認してください。SPP ホットフィックスの詳細については、[SPP Information Library ページ](#)にある SPP のリリースノートを参照してください。

このサプリメントは、Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 8.1 Supplement for Service Pack for ProLiant 2019.12.0 で、HPE ProLiant 製品に RHEL 8.1 のサポートを提供します。これは RHEL 8.1 専用のリリースで、SPP 2019.12.0 で動作するために設計されました。

RHEL 8.1 でサポートされるサーバーについて詳しくは、<http://www.hpe.com/servers/ossupport> を参照してください。

製品名	コメント
Red Hat Enterprise Linux 8.1 Supplement for Service Pack for ProLiant 2019.12.0	ソフトウェアコンポーネントを含むバンドル ファイル名: supsp- 2019.12.rhel8.1.en.tar.gz

アップデートの推奨事項

オプション - ご使用のシステムが記載された修正に影響する場合、またはこのバージョンで提供される拡張機能を使用する場合、このバージョンにアップデートする必要があります。

整合性

Service Pack for ProLiant 2019.12.0

変更の概要

重要な注意

この文章全体で使用されているサブプリメント、Service Pack for ProLiant または SPP の用語は、明示的に述べない限り、概要セクションの表の配布物のすべてを示しています。

⚠ 任意のコンポーネントをシステムにインストールする前に、インストール手順で問題が発生した場合にシステムの最新のバックアップが利用できることを確認してください。

リリースの概要

この Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 8.1 Supplement for Service Pack for ProLiant のリリースの概要は以下のとおりです。

Red Hat Enterprise Linux 8.1 のサポートを追加しました。

このサブプリメントに付属するドライバーか、RHEL8.1 ディストリビューションで提供されるドライバーのいずれかを使用できます。ただし、ディストリビューションの最初のリリースに付属するドライバーには、このサブプリメントで利用できる HPE の追加機能の一部が含まれていないことがあります。これらの機能は将来の SPP リリースで追加されます。

このサブプリメントは、SPP 2019.12.0 に対応しています。

SUM およびこの Service Pack for ProLiant (SPP) のサブプリメントで提供されるすべてのコンポーネントは、一緒にテストされ、Service Pack for ProLiant 内の他のコンポーネントの依存関係を満たしています。

以下の製品に同梱されているソフトウェアとファームウェアコンポーネントを使用しているシステムは、簡単にこのサブプリメントのコンポーネントに移行することができます。

製品	バージョン
Service Pack for ProLiant	2019.12.0
	2019.09.0
	2019.03.0

前提条件

Linux 上での SUM の実行

⚠ インストール処理に失敗したときのために、ターゲットシステムにソフトウェアアップデートをインストールする前に、ターゲットシステムの最新のバックアップがとられていることを確認してください。

Linux オペレーティングシステムのリモートターゲットシステムで SUM を正常に展開するには、以下が利用可能であることが必要です。

- libcrypt.so
- libcrypt.so.1

- /usr/lib/libqldsmdm.so
- /usr/lib64/libqldsmdm-x86_64.so
- /lib/cim/libqldsmdm.so
- /usr/lib/libemsdmdm.so
- /usr/lib64/libemsdmdm.so
- /lib/cim/libemsdmdm.so
- /usr/lib/bfahbaapi.so
- /usr/lib64/bfahbaapi.so
- /lib/cim/bfahbaapi.so
- linux-vdso.so.1
- /lib64/libcrypt.so.1
- /lib64/libpthread.so.0
- /lib64/libz.so.1
- /lib64/libdl.so.2
- /lib64/librt.so.1
- /usr/lib64/libstdc++.so.6
- /lib64/libm.so.6
- /lib64/libgcc_s.so.1
- /lib64/libc.so.6
- /lib64/ld-linux-x86-64.so.2

展開の手順

このサブプリメントは、オペレーティングシステムのインストール後に使用するよう設計されています。これにより、ドライバーのアップデートと、HPE ユーティリティ(ヘルスや iLO ドライバーなど)およびエージェント(サーバー、NIC、およびストレージ)のインストールが可能になります。

サポートされている Linux オペレーティングシステム上で SPP サプリメントおよびそれに対応する SPP を使用することにより、標準の Linux インストールツール(YUM/Zypper)または HPE 管理ツール(SUM/OneView)のいずれかを選択して以下のことを実行できます。

- サプリメントおよび SPP で提供されたソフトウェアおよびファームウェアを使用します。
- SPP に提供されるファームウェアを使用したり、Software Delivery Repository <http://downloads.linux.hpe.com/SDR> からソフトウェアを入手したりします。
- SPP で提供されるファームウェアおよびソフトウェアユーティリティと、オペレーティングシステムのディストリビューションから入手可能なドライバーを使用します。

コンポーネントは所定の展開に応じて、SUM カスタムベースラインを使用して単一の ISO に組み合わせたり、別のパッケージとして適用したりできます。

コンポーネントリリースノート

[ドライバー - ストレージコントローラー](#)

[ソフトウェア - Lights-Out マネジメント](#)

[ソフトウェア - ストレージ ファイバーチャネル HBA](#)

[ソフトウェア - システムマネジメント](#)

ドライバー – ストレージコントローラー

[先頭](#)

Red Hat Enterprise Linux 8 (64-bit)用 HPE Dynamic Smart アレイ B140i SATA RAID コントローラードライバー

バージョン: 1.2.10-176 (**推奨**)

ファイル名: kmod-hpdsa-1.2.10-176.rhel8u0.x86_64.compsig; kmod-hpdsa-1.2.10-176.rhel8u0.x86_64.rpm; kmod-hpdsa-1.2.10-176.rhel8u1.x86_64.compsig; kmod-hpdsa-1.2.10-176.rhel8u1.x86_64.rpm

修正

Red Hat Enterprise LINUX 8 Update 1 のサポートを追加しました

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリ rpm でサポートされる Red Hat Enterprise Linux 8 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

デフォルト- Red Hat Enterprise Linux 8 Update 6 (64-bit)

Red Hat Enterprise Linux 8 (64-bit)用 HPE ProLiant Gen10 Smart アレイコントローラー(64-bit)ドライバー

バージョン: 1.2.10-027 (**推奨**)

ファイル名: kmod-smartpqi-1.2.10-027.rhel8u0.x86_64.compsig; kmod-smartpqi-1.2.10-027.rhel8u0.x86_64.rpm; kmod-smartpqi-1.2.10-027.rhel8u1.x86_64.compsig; kmod-smartpqi-1.2.10-027.rhel8u1.x86_64.rpm

修正

Red Hat Enterprise LINUX 8 Update 1 のサポートを追加しました

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリ rpm でサポートされる Red Hat Enterprise Linux 8 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

-デフォルト- Red Hat Enterprise Linux 8 Update 0 (64-bit)

Red Hat Enterprise Linux 8 (64-bit)用 HPE ProLiant Smart アレイコントローラー(64-bit)ドライバー

バージョン: 3.4.20-188 (**推奨**)

ファイル名: kmod-hpsa-3.4.20-188.rhel8u0.x86_64.compsig; kmod-hpsa-3.4.20-188.rhel8u0.x86_64.rpm; kmod-hpsa-3.4.20-188.rhel8u1.x86_64.compsig; kmod-hpsa-3.4.20-188.rhel8u1.x86_64.rpm

修正

Red Hat Enterprise LINUX 8 Update 1 のサポートを追加しました

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリ rpm でサポートされる Red Hat Enterprise Linux 8 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

- Red Hat Enterprise Linux 8 Update 6 (64-bit)

カーネルバージョン:4.18.0-80

ソフトウェア – Lights-Out マネジメント

[先頭](#)

HP Lights-Out オンライン設定ユーティリティ for Linux (AMD64/EM64T)

バージョン: 5.5.0-0 (推奨)

ファイル名: hponcfg-5.5.0-0.x86_64.compsig; hponcfg-5.5.0-0.x86_64.rpm

前提条件

このユーティリティは、以下の最小ファームウェアバージョンを必要とします。

- Integrated Lights-Out 3 ファームウェアバージョン 1.00 以降
- Integrated Lights-Out 4 ファームウェアバージョン 1.00 以降
- Integrated Lights-Out 5 ファームウェアバージョン 1.20 以降

マネジメントインターフェイスドライバーおよびマネジメントエージェントはサーバーに必ずインストールされていなければなりません。

iLO 5 の場合は、上記のパッケージに加え、openssl v1.0.x 以降が必要です。

openssl を手動でコンパイルおよびインストールしたり、意図的に /usr/bin/openssl を再配置している場合は、PATH 環境変数を設定し、正しい/意図した openssl に HPONCFG をダイレクトする必要があります。

修正

ホストの OpenSSL FIPS モードをサポートするために OpenSSL API 呼び出しをアップデートしました。

ソフトウェア - ストレージ ファイバーチャネル HBA

[先頭](#)

Fibreutils for HPE Storage ファイバーチャネルホストバスアダプター for Linux - Red Hat Enterprise Linux (RHEL)

バージョン: 4.1-1 (b) (オプション)

ファイル名: fibreutils-4.1-1_rhel.x86_64.compsig; fibreutils-4.1-1_rhel.x86_64.rpm

前提条件

- 以下のパッケージをインストールする必要があります: glibc libgcc libstdc++ bash perl

修正

不明の代わりに正しいベンダー名を表示するように adpater_info コードを修正しました

改良点:

このパッケージでは、Red Hat Enterprise Linux (RHEL) デイストリビューションのみがサポートされています

サポートされるデバイスおよび機能

サポート対象:

- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1605 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP QMH2672 16Gb FC HBA for c-Class BladeSystem
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2 ポート 650M アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2 ポート 650FLB アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+ アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 556FLR-T アダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4 ポート 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84E 4 ポート 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8Gb 2 ポート PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb 2 ポート PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 81Q 8Gb 1 ポート PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 81E 8Gb 1 ポート PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb 2 ポート PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb 1 ポート PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gb 2P FC HBA
- HPE SN1610Q 32Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4 ポート 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100E 16Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100E 16Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1000Q 16Gb 2 ポート PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1000Q 16Gb 1 ポート PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-T 10GBASE-T コンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric CN1200E 10Gb コンバージドネットワークアダプター

HPE Emulex Smart SAN Enablement Kit (Linux)

バージョン: 1.0.0.0-4 (e) (オプション)

ファイル名: hpe-emulex-smartsan-enablement-kit-1.0.0.0-4.x86_64.compsig:hpe-emulex-smartsan-enablement-kit-1.0.0.0-4.x86_64.rpm

重要な注意:

オペレーティングシステムにインボックスファイバーチャネルドライバーのみインストールされている場合、Smart SAN イネーブルメントキットは実行されません。ボックス (OOB) ファイバーチャネルドライバー以外では、Smart SAN 機能を利用する必要があります。OOB ドライバーがインストールされている場合、イネーブルメントキットでは、将来の使用のために Smart SAN 機能が事前に有効/無効になります。OOB ドライバーが有効な Smart SAN がインストールされ(前提条件の注記参照)、再起動後に有効になります。

3PAR Smart SAN ユーザーガイドを取得するには、以下のリンクから Storage Information Library を参照してください：

[Storage Information Library](#)

(<http://www.hpe.com/info/storage/docs/>)

デフォルトでは、**HP 3PAR Storage** が下記から選択されます

製品およびソリューション

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能な SPOCK を参照してください。

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

Smart SAN 機能を有効にするには、HPE が提供するファイバーチャネルドライバーをこの Enablement Kit コンポーネントの前にインストールする必要があります。このドライバーは、HPE.com の Web サイト www.hpe.com から入手できます。

Linux FC ドライバーキット for HPE Branded Emulex FC HBA およびメザニカード、バージョン 11.1.183.21 (サポートされている最小バージョン) for RedHat 7、RedHat 8 および Novell SUSE 12、SUSE 15

ただし、Smart SAN が有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後に、将来の使用のためにコンポーネントの Enablement Kit ファイルを取得します。

改良点:

SLES15SP1 にサポートを追加しました

バージョン 1.0.0.0-4 にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次の Emulex ファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FC:

- HP 81E 8Gb シングルポート PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric 84E 4-Port ファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe16000 (16Gb) FC:

- HP SN1000E 16Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP ファイバーチャネル 16Gb LPe1605 メザニン
- HP SN1100E 16Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe31000/32000(16Gb/32Gb) FC:

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

HPE QLogic ファイバーチャネル Enablement Kit キット for Linux

バージョン: 6.0.0.0-11 (b) (オプション)

ファイル名: HP-CNA-FC-hpqlgc-Enablement-Kit-6.0.0.0-11.noarch.compsig; HP-CNA-FC-hpqlgc-Enablement-Kit-6.0.0.0-11.noarch.rpm

重要な注意:

リリースノート:

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能な SPOCK を参照してください。

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

修正

以下を修正しました:

- Non Volatile Memory Express (NVME) ID と Subsys Id が異なるときに Non Volatile Memory Express (NVME) ターゲットが表示されない
- N_Port ID Virtualization (NPIV) ポートで発生するアプリの初期化の遅延
- Red Hat Enterprise Linux (RHEL) の Non Volatile Memory Express (NVME) ターゲットで発生するアプリの問題
- N_Port ID Virtualization (NPIV) 構成の Non Volatile Memory Express (NVME) ターゲットで発生するアプリの問題
- 共有メモリ上で /tmp が tmpfs でマウントされている場合に BSG インターフェイスが失敗する

改良点:

バージョン 6.0.0.0-11 にキットをアップデートしました

下記のカードのサポートを追加しました:

- Red Hat Enterprise Linux 8 (RHEL 8)および SuSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 1 (SLES15SP1)
- Gen 6 ファイバーチャネルホストバスアダプター用の SDGetActiveRegions アプリケーションインターフェイス (API) を許可する
- Non Volatile Memory Express (NVME) ターゲット用のアプリケーション機能を制限する
- 不揮発性ランダムアクセスメモリ (NVRAM) パラメーターを追加して、ファイバーチャネルプロトコル (FCP) または Non-Volatile Memory Express (NVME) ターゲットを選択する

サポートされるデバイスおよび機能

このバージョンの Enablement Kit は、以下のデバイスをサポートします:

Gen4 ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8Gb デュアルポート PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8Gb ファイバーチャネル HBA
- HPE QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター、BladeSystem 用

Gen5 ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター、c-Class BladeSystem 用
- HPE StoreFabric SN1000Q 16Gb 2 ポート PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1000Q 16Gb 1 ポート PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター

Gen6 ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 2 ポート PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 1-port PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Gen7 ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1610Q 32Gb 2P FC HBA
- HPE SN1610Q 32Gb 1P FC HBA

HPE QLogic Smart SAN Enablement Kit for Linux

バージョン: 3.3-3 (h) (オプション)

ファイル名: hpe-qlogic-smartsan-enablement-kit-3.3-3.x86_64.compsig; hpe-qlogic-smartsan-enablement-kit-3.3-3.x86_64.rpm

重要な注意:

3PAR Smart SAN ユーザーガイドを取得するには、以下のリンクから Storage Information Library を参照してください:

[Storage Information Library](#)

(<http://www.hpe.com/info/storage/docs/>)

デフォルトでは、**HP 3PAR Storage** が下記から選択されます

製品およびソリューション

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能な SPOCK を参照してください。

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

Smart SAN 機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前に HPE で指定されたファイバーチャネルドライバーをインストールしなければなりません。ドライバーは、HPE.com のウェブサイト www.hpe.com で利用できます。

- Red Hat Enterprise Linux 6 Server (x86-64) FCoE/FC ドライバーキット for HPE QLogic CNA、HBA およびメザニン HBA、バージョン 8.07.00.42.06.0-k1
- Red Hat Enterprise Linux 7 Server FCoE/FC ドライバーキット for HPE QLogic CNA、HBA およびメザニン HBA および CNA パッケージ 8.07.00.42.07.0-k1
- SUSE Linux Enterprise Server 11 (AMD64/EM64T) FCoE/FC ドライバーキット for HPE QLogic CNA、HBA およびメザニン HBA、バージョン 8.07.00.42.11.3-k
- SUSE Linux Enterprise Server 12 FCoE/FC ドライバーキット for HPE QLogic CNA、HBA およびメザニン HBA および CNA パッケージ 8.07.00.42.12.0-k1

ただし、Smart SAN が有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後に、将来の使用のためにコンポーネントの Enablement Kit ファイルを取得します。

改良点:

RHEL8 および SLES15SP1 のサポートが追加されました

バージョン 3.3-3 にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下の HPE アダプターをサポートします。

Gen4 ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8Gb デュアルポート PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8Gb ファイバーチャネル HBA
- HPE QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター、BladeSystem 用

Gen5 ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター、c-Class BladeSystem 用
- HPE StoreFabric SN1000Q 16Gb 2 ポート PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1000Q 16Gb 1 ポート PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター

Gen6 ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 2 ポート PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 1-port PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Gen7 ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1610Q 32Gb 2P FC HBA
- HPE SN1610Q 32Gb 1P FC HBA

バージョン: 2.1.0 (オプション)

ファイル名: amsd-2.1.0-1406.75.rhel8.x86_64.compsig; amsd-2.1.0-1406.75.rhel8.x86_64.rpm

前提条件

- amsd は、HPE Gen10 サーバー上のみでサポートされています。
- amsd は、SNMP サポートを提供している iLO 5 サービスに情報を提供します。
- 要件:
 - 最低限必要な iLO 5 ファームウェアバージョン = 1.1
 - サポートされる最小 OS バージョン = Red Hat Enterprise Linux 8

修正

以下を修正しました。

- メモリリークを解決しました
- ahslog で報告されたセグメンテーション違反を修正しました
- iLO と amsd 間の同期を改善しました

改良点:

このリリースで有効になった新機能:

- すべてのストレージサブエージェントが独立したサービスになりました
- 新しいネットワークコントローラーのサポートを追加しました

HPE ProLiant Agentless Management Service for Red Hat Enterprise Linux 8 Server

バージョン: 2.9.1 (オプション)

ファイル名: hp-ams-2.9.1-842.8.rhel8.x86_64.rpm

前提条件

- hp-ams は、HP ProLiant Gen8 および Gen9 サーバーでサポートされています。
- hp-ams は、SNMP サポートを提供している HP iLO 4 サービスに情報を提供します。
- HP iLO 4 上で SNMP パススルーを無効にして、SNMP が HP iLO 4 上で構成されている必要があります。HP iLO 4 は、これらの設定を変更した後にリセットする必要がある場合があります。
- 要件:
 - 最低限必要な HP iLO 4 ファームウェアバージョン = 1.05
 - サポートされる最小 OS バージョン = Red Hat Enterprise Linux 8

修正

Red Hat Enterprise Linux 8 Server の初回サポートです

HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA) CLI for Linux 64-bit

バージョン: 4.15.6.0 (オプション)

ファイル名: ssacli-4.15-6.0.x86_64.compsig; ssacli-4.15-6.0.x86_64.rpm; ssacli-4.15-6.0.x86_64.txt

重要な注意:

HPE SSA CLI は従来と同様に、さらに追加の機能、能力、およびサポートされたデバイスを持ち、ご使用のストレージを構成して管理することができます。既存の ACUCLI スクリプトは、互換性を維持するために適切なバイナリまたは実行可能ファイルを呼び出すような最小限の変更のみを加える必要があります。

改良点:

- 256TB を超えるボリュームで SmartCache を有効にするサポートが追加されました

HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA) for Linux 64-bit
バージョン: 4.15.6.0 (オプション)
ファイル名: ssa-4.15-6.0.x86_64.compsig; ssa-4.15-6.0.x86_64.rpm

重要な注意:

HPE SSA は既存の HP アレイコンフィギュレーションユーティリティ、または ACU のデザインをアップデートして、それらがオンラインになるのに応じて、様々な Smart Storage イニシアチブのために新機能と機能性を提供します。HPE Smart Array Advanced Pack 1.0 および 2.0 の機能は、適切なファームウェア(の使用)により HPE SSA のベースライン機能の一部となりました。

HPE SSA は従来と同様に、さらに追加の機能、能力、およびサポートされたデバイスを持ち、ご使用のストレージを構成して管理することができます。既存の ACU スクリプトは、互換性を維持するために適切なバイナリまたは実行可能ファイルを呼び出すような最小限の変更のみを加える必要があります。

前提条件

HPE Smart Storage Administrator for Linux は、サーバーに HPE System Management Homepage ソフトウェアがインストールされている必要があります。サーバーに HPE System Management Homepage ソフトウェアがインストールされていない場合、HPE Smart Storage Administrator for Linux をインストールする前に、HPE.com からダウンロードしてインストールしてください。

重要なアップデート:HPE SSA (GUI) for Linux は、HPE System Management Homepage を必要とせず、実行することができます。HPE SSA は、Linux 用のローカルアプリケーションモードをサポートするようになりました。HPE System Management Homepage はサポートされていますが、HPE SSA GUI の実行には必要ありません。

起動するには、コマンドプロンプトで以下を入力してください。

```
ssa -local
```

このコマンドは新しい Firefox ブラウザーウィンドウで HP SSA を開始します。ブラウザーウィンドウを閉じると、HPE SSA は自動的に終了します。これは、ループバックインターフェイスだけに有効であって、外部ネットワーク接続からは見えません。

改良点:

- 256TB を超えるボリュームで SmartCache を有効にするサポートが追加されました

HPE Smart Storage Administrator Diagnostic Utility (HPE SSADU) CLI for Linux 64-bit
バージョン: 4.15.6.0 (オプション)
ファイル名: ssaduccli-4.15-6.0.x86_64.compsig; ssaduccli-4.15-6.0.x86_64.rpm; ssaduccli-4.15-6.0.x86_64.txt

重要な注意:

HPE Smart Storage Administrator の診断機能のこのスタンドアロンバージョンは、CLI からのみ利用できます。診断レポートの GUI バージョンは、HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA)を使用してください。

改良点:

- 256TB を超えるボリュームで SmartCache を有効にするサポートが追加されました

HPE SNMP エージェント for Red Hat Enterprise Linux 8 Server
バージョン: 10.9.0 (オプション)
ファイル名: hp-snmp-agents-10.90-2996.5.rhel8.x86_64.rpm

前提条件

hp-health および hp-snmp-agents は、x86_64 環境では 32 ビットアプリケーションとして起動します。Linux カーネル 32 ビット互換が有効にされていて(通常 Linux ではデフォルト)、32 ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-snmp-agents に関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のように入力します:

```
rpm -qp --requires hp-snmp-agents-<version>.rpm
```

修正

以下を修正しました。

- OS バージョン値を修正しました
- 新しい OS リリースの誤った OS 名に対処しました
- Red Hat Enterprise Linux 8 の cmapeerd & cmahostd のサポートを追加しました

HPE システムヘルスアプリケーションおよびコマンドラインユーティリティ for Red Hat Enterprise Linux 8 Server

バージョン: 10.9.1 (オプション)

ファイル名: hp-health-10.91-1878.11.rhel8.x86_64.rpm

前提条件

hp-health および hp-snmp-agents は、x86_64 環境では 32 ビットアプリケーションとして起動します。Linux カーネル 32 ビット互換が有効にされていて(通常 Linux ではデフォルト)、32 ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-health に関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

```
rpm -qp --requires hp-health-< version >.rpm
```

修正

Red Hat Enterprise Linux 8 Server の初回サポートです

HPE System Management Homepage for Linux(AMD64/EM64T)

バージョン: 7.6.5-3 (推奨)

ファイル名: hpsmh-7.6.5-3.x86_64.rpm

重要な注意:

SMH 7.6.0 以降のバージョンは Gen 8 および Gen 9 サーバーのみをサポートします。将来の全てのパッチリリースは SMH web ページ上でのみ行われます。HPE SMH [リリースノート](#)を参照してください。

Linux OS のユーザー用のご注意

- パスワードファイルの編集またはその他の方法により、“hpsmh”ユーザー(インストール中に作成)にログインアクセスを提供しないでください。
- “hpsmh”グループ(インストール中に作成)にユーザーを追加しないでください。

前提条件

SMH ソフトウェアをインストールする前に、RPM が必要なバージョンの Linux ライブラリの依存関係が存在するかどうかを確認します。依存関係が見つからない場合、欠落した依存関係のリストが提供されます。ユーザーは RPM をインストールする前に、すべての必要な依存関係を手動でインストールして、前提条件を満たす必要があります。

修正

新しい OS のサポート

- RHEL 8
- SLES15 SP1

HPE System Management Homepage テンプレート for Linux

バージョン: 10.8.1 (オプション)

ファイル名: hp-smh-templates-10.8.1-1487.3.noarch.rpm

前提条件

すべての依存関係がインストールされていないと、**hp-smh-templates** RPM インストールが失敗します。管理者は、このコマンドを実行することにより、必要な依存関係の一覧を検証できます。yum または zypper により使用されているリポジトリにこれらの依存関係が含まれている場合は、インストールツールにより自動的に取得されます。ただし、存在しない場合は、RPM のインストールに進む前に、ユーザーが主導でインストールする必要があります。

hp-smh-templates に関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

```
rpm -qp --requires hp-smh-templates-<version>.rpm
```

修正

Red Hat Enterprise Linux 8 Server の初回サポートです
